

北海道技術者育成プラットフォーム 令和元年度シンポジウム 報告

令和元年 10 月 30 日(水)に、「北海道技術者育成プラットフォーム 令和元年度シンポジウム」を開催致しました。今年 3 月の設立以後、今年度初の大きなイベントとなります。

今回、産学官の関係者 150 名と多くの方にご参加いただきました。ありがとうございます。

北海道大学電子科学研究所・中垣所長による「基調講演」は、ご研究テーマである単細胞生物のアメーバ運動を視点とした北海道交通網のシミュレーションや技術者育成の重要性について、映像、写真等を活用してわかりやすくご講演頂き、非常に興味深い内容でした。

また、パネルディスカッションでは、企業、地方公共団体、教育機関及び若手女性技術者の立場から、技術者育成の現状と課題や取組み、当プラットフォームへの期待が述べられました。最後にコーディネーターの北海道大学工学院・蟹江教授より、技術者としての育成過程で、企業・行政機関と教育機関が連携し、スパイラルアップの関係を構築すべきことが必要であるとの提言をいただきました。

基調講演、パネルディスカッションを通じて、激甚化する災害への対応やインフラマネジメントを担う技術者の育成について活発な議論がなされ、今後の当プラットフォーム活動に対する期待が寄せられました。



シンポジウム風景



開会挨拶（三上 PF 会長）



基調講演（中垣俊之所長）



パネルディスカッション



パネリスト



閉会挨拶（栗田 PF 副会長）